

横浜港南ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす

2017~2018年度 国際ロータリーのテーマ



◎例会日/毎週水曜日 ◎例会場/京急百貨店 10F パンケットルーム「リヴァージュ」 045 (848) 1111
◎事務所/〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-13-23タウンサイト41-302号 TEL 045 (846) 5111
◎会長/北見丈治 ◎副会長/大橋三郎・阿曾輝彦 ◎幹事/大越雅也 ◎会報委員長/佐々部宣宏
FAX 045 (846) 5129

第 2087 横浜港南ロータリークラブ週報 2017. 8. 2. [水] 第 2315 回例会報告

◎司会 市川敏明 SAA 委員
◎ロータリーソング 『君が代』『我らの生業』
◎ソングリーダー 横尾博之合唱委員

◎ゲスト ・元米山奨学生 宋 宇さん
・米山奨学生 デルバさん

◎出席報告 豊場建伍出席委員長

会員数	出席者数	出席率	前回修正率	前月平均率
37(7)名	31(7)名	83.8%	94.6%	90.8%

()内は出席免除会員数

公式出席

・7/21 会報委員会炉辺会合 北見丈治会長
大橋三郎副会長 大越雅也幹事
佐々部宣宏委員長 天野憲二委員
坂巻照代委員 高柳良作委員
平山滋也委員 宮下賢委員

・7/23 青少年奉仕委員会
北見丈治会長 根本雄一委員長

・7/31 理事会
大越雅也幹事 北見丈治会長
阿曾輝彦委員 大橋三郎委員
樋口一樹委員 橋浦重己委員
瀧文博委員 尾形達也委員
瀧文博委員 根本雄一委員

・8/1 地区職業奉仕委員会 大越雅也委員長

7月ホーム出席100%
小後摩重正委員 横尾博之委員
市川敏明委員 豊場建伍委員
青柳民朗委員 阿曾輝彦委員

大井和子委員 大越雅也委員
大橋三郎委員 北見丈治委員
坂巻照代委員 櫻井富雄委員
佐々部宣宏委員 瀧文博委員
西山俊雄委員 林田利治委員
福嶋昭委員

◎親睦委員会(今週のお祝) 根本雄一委員
*結婚記念日祝 尾形達也委員(8日)

ニコニコボックス本日合計	30,000円
ニコニコボックス累計	199,000円

◎米山チャリティボックス

青柳民朗委員 坂巻照代委員
佐々部宣宏委員 高柳良作委員
民谷佳子委員 橋浦重己委員
細井順子委員 宮下賢委員 8名

米山チャリティボックス本日合計	8,000円
米山チャリティボックス累計	39,000円

◎会長報告

①大岡川クリーンアップ

8月6日(日)(7月30日が雨の為順延)

当日が雨で中止の場合は参加予定者に電話連絡致します。

②例会変更

8月23日(水)通常例会あり

30日(水)通常例会なし→8月31日(木)に変更
18:30~『花里』

8月25日に予定していた港南ライオンズとの合同夜間例会は先方の都合で8月31日(木)に変更となります。

③港南区剣道大会メダル授与について

以前は午後に行われていた高校女子の試合が今年から午前中に行われており、メダル授与を行う上で

現状の8つから9つへ一つ増やして頂くことを次年度の青少年奉仕委員会で考えて頂きたいと思います。

④例会の昼食について

例会を欠席される方は月曜日4時までに大塚さんへ連絡してください。今後、該当者は会長報告または幹事報告で発表させていただきます。(支払い忘れのないようご注意下さい)当日連絡や無断欠席の場合はお食事が無駄になってしまうので、よろしくお願い致します。

⑤会報について

会報をパソコンやスマホで受け取るため PDF で欲しい方にはメールアドレスを知らせて頂くよう回覧しております。ご希望の方は回覧にご記入ください。

⑥今日は何の日

8月2日はカレーうどんの日です。6月2日はカレーの日、7月2日はうどんの日、平成22年に8月2日はカレーうどんの日となりました。他には金銀の日です。アムステルダムオリンピックでは日本人初金メダル・銀メダルを取ったという事です。

⑦米山奨学生のデルバさんに奨学金をお渡しします。

◎幹事報告

①理事会報告を致します。

- ・ 8月31日(水) 18:30~『花里』
ライオンズクラブ合同夜間移動例会
- ・ 9月27日(水) 18:30~スカイビル『ミクニ』
創立記念家族例会
会費、会員 12,000円 家族 5,000円
- ・ 10月25・26日(水・木)親睦一泊旅行(修善寺方面)
欠席者の方は不参加費用で交通費相当分の負担をお願いします。
- ・ 例会欠席について
欠席予定表に記入するか、月曜日4時までに大塚さんへ連絡をお願いします。

②大岡川クリーンアップ

平成29年8月6日(日) 午前9:30~11:00
場所 『笹野橋公園』
皆さんよろしくお願い致します。

④国際奉仕について

大井会員より子供服・おもちゃ等のリサイクル品があるので、セブポートセンターRC へ贈ることが決まりました。発送費用は小池さんの会社にご協力頂けるようです。

⑤8月の地区委員長会議予定

8月 4日(金)青少年奉仕委員会
21日(月)クラブ奉仕委員会
29日(火)雑誌広報委員会
櫻井富雄前会長出席予定

◎委員会報告

①社会奉仕委員会

瀧文博委員長

8月6日(日)の大岡川クリーンアップは台風の影響が考えられますので、中止の場合は当日朝8時には連絡させていただきます。連絡がなければ実施となります。

◎『読書について』

高柳良作会員



今日は趣味の話をさせていただきます。私には2歳の娘がおりますが、趣味にかける時間が殆どなく、娘の世話に明け暮れている毎日です。ただ、読書は毎日続けることが出来、最近をよく本を読んでいますので、今日は読書についてお話しさせていただきます。

『100冊』この数字は何を意味するでしょうか？

実はアメリカの大学生が1年間に読む本の冊数の平均です。では、日本の大学生がどのくらい読むかという、4年間で100冊です。アメリカの大学生の方がたくさん読んでいます。

『47.5%』この数字は何を意味するでしょうか？

これは16歳以上の人が、1ヶ月に何も本を読まない方の数字です。それだけ読書離れが進んでいるのだと思います。

私も大学生くらいからあまり本を読まなくなりました。

私は弁護士をしておりますので、勉強の為にそういった本は読みますが、それ以外の本は読まないの、大学生の数字を見て、私は数年前から仕事に関係のない本を年に100冊くらい読もうと今も継続しています。良い本に巡り合うには数をこなさなければいけないと思いい、出来る限り人から勧められた本や自分で気になった本を読むようにしています。

最近では読書ノートをつけて、本を読んでどんな本だったか要約しています。それはどんな本だか忘れてしまうからです。良い本だと思っても、1~2週間、そして1年経つと忘れてしまいます。それはもったいないので、ノートにまとめています。もう一つは良い本でも、もう一度読むとなると時間がかかります。自分なりにまとめたり、役に立ちそうなところを引用してみましたので、私が今まで読んできた中で特に印象に残った本・フレーズなどを紹介させていただきます。

『そんな鋳型にいたような悪人は世の中にある筈がありませんよ。平生はみんな善人なんです、少なくともみんな普通の人間なんです。それが、いざという間に、急に悪人になるんだから恐ろしいのです。だから油断が出来ないんです』

これは夏目漱石の『こころ』から引用しました。私がこれを読んだのは高校の現代国語の授業です。私は私立の学校に通っており、その時の先生はあまり教科書を使わずに、一年かけて『こころ』をやりました。その中で印象に残っているのは先ほどのフレーズです。

『こころ』はどのような話かという、先生と言われる人と、書生とのやり取りで、3部構成になっており、最後に先生からの非常に長い手紙が書かれています。最近読み直してみると心に刺さるものがありました。仕事の

せいかもしれませんが、弁護士の仕事は人の争いごとを解決するお手伝いをさせて頂いているので、トラブルになっけていても、おそらく普段は普通の人なんだろうと思うことがよくあるのです。それが相続や離婚であるとか何らかのトラブルに接すると、急に変わってしまう。何をもって悪人かというところも非常に難しい問題ですが、やはり普段と違って急に変わってしまう、そこが人の本質についていると思いました。又、私自身も普段と変わってしまうことがあるかも知れませんが、自分でも気を付けていきたいと思ひます。

『われわれの人生とは、我々の思考がつくり上げるものにほかならない』

人を動かす三原則・盗人にも五分の理を認める
・重要感を持たせる・人の立場に身を置く

これはD・カーネギー氏の『道は開ける』です。有名な昔の本で自己啓発本の一つと言われています。これを讀んだきっかけは、弁護士一年目に非常に悩んだ時がありました。私は今年の12月で弁護士になって10年目に入りますが、一年目は26歳でした。社会人経験がないままこの仕事に入りました。1月から弁護士登録をして、3月にはこの仕事をやめたいと思ったのです。何かのきっかけでこの本を讀んで、先ほどのフレーズにあったように、自分の悩みは自分自身の趣向が作り上げているのではないかと等書かれており、とても心が軽くなったような気がしました。それで今まで続けてこれたということがあります。自分自身の悩みや思っている事は自分が作り上げているものなのだから、そこを変えると何とかなるのではないかと、ということが非常に印象に残っています。

『人を動かす』同じくD・カーネギー氏の本です。これはコミュニケーションに関する本で、人に動いてもらうにはどうすることが大事なのか、ということがこの一冊に書かれています。この本を讀んでコミュニケーションであるとか、人に動いてもらうには自分の意見を押し通すのではなく、人から見たらどう思うのか、どんな意味があるのかを考えるきっかけになりました。今年の11月から事務所に一人弁護士が増えることになり、その人と上手くコミュニケーションをとらなければいけないので、改めて読み直してみたいと思ひます。

『アベレージマンが勝負に勝とうと思ったら、あと一歩、あと一センチで手を抜かない』これは『勝負哲学』という本に書かれています。将棋の羽生善治さんとサッカー元日本代表監督の岡田武史さんの対談集です。この二人には勝負師という共通点があると書かれています。その勝負の場に至るまでに、どのようなことに気を付けているのか、その中の一説に先ほどのフレーズがありました。自分みたいな平均的な人間が勝負に勝とうと思ったら、最後の最後まで手を抜いてはいけません。これを岡田さんはいつも気を付けているそうです。二人とも客観的な資料も大事ですが、最後はそれに頼り切らずに自身の感を働かせて闘うと言っていたのが非常に印象的でした。

羽生善治さんの『大局観』も有名な本ですが、これもお

すすめです。スポーツに関する本は普通の生活にも応用が出来るのではないかと思ひ、最近ではスポーツ選手の野村克也さんや三浦大輔さんが書いた本も讀んでいます。親近感があり私生活にも役立つような内容が書かれています。

先日NHKである人の特集がありました。その方の一説に、『僕にとって文章を書くことは、息をするのと同じくらい自然なことです。そう感じるのは、重度の自閉症という障害の為、人とコミュニケーションが取れないせいかも知れませんが』

これは『飛び跳ねる思考』東田直樹さんの本です。

この方が書いたエッセイ集で重度の自閉症の為、会話が全くできず人とコミュニケーションをとることが出来ないのです。ただ、文字盤ポインティングでコミュニケーションが出来るのです。パソコンのキーボードみたいなものを紙に印刷して文字を追いつながら人と会話が出来るので、世界的にも非常に稀なケースであると紹介されていました。この方自身が言っていました、自閉症という障害をお持ちなので誤解を恐れずに言えば、普通の人とは少し違つて、見た目からは想像できないが、自分が考えていることを本にして発表できたことは嬉しいと言っていたことは印象に残っています。おすすめなのは是非お讀み頂きたいと思ひます。

『落語とは人間の業の肯定である』と立川談志さんがおっしゃいました。談志さんのお弟子さんの立川談春さんのエッセイ『赤めだか』です。この業の肯定とはどういうことかわからなかったのですが、立川談志さんが書いた本を讀んでいると、業というのは人間の弱いところである。落語というのは人間の弱いところを批判するだけではなく肯定してあげるところ。そこがあるからここまで残つてきたのではないかと、というのが彼の持論だそうです。私が弁護士二年目の時に、お世話になった弁護士の先生に、『弁護士に依頼して来るということは、自分が出来ないから依頼して来るのだと。そういった弱いところを持っている人達だからこそ自分たちに依頼して来るのだから、そこをきちんと肯定してあげなければだめだ』と言われたのを覚えています。そういった弱いところをきちんと肯定する。そこが共通しているのではないかと思ひ、これを忘れないようにしていきたいと思ひます。もう一つ印象に残つたのは、弟子に対する教育の方法です。芸は見て盗め。先輩のやっていることを見て盗め、このように一般的には言われるのですが、『見て盗むにも技術が必要だから少なくともそこまでは教えてあげなくてははいけません』と談志さんは言っていたそうです。

私はビジネスに関係する本や経営者の方が書いた本もここ数年讀むようにしています。

『空気の作り方』

それは、企業を、商品を、自信の成し遂げた仕事を、世の中に『成功』と認識してもらうための秘訣です。

これは池田純さん(横浜DeNAベイスターズ前球団社長)

が書かれたものの一説です。3部作あって1作目の本です。この中で2011年ベ이스ターズは24億円の赤字でしたが、2016年には黒字に転換、チームも5~6位あたりでしたが、2016年には初めてのCS出場となりました。球団経営が上手くいくとスポーツチームも強くなるという自分の仮説を実践しました。池田さんがベ이스ターズの球団社長になったのは35歳の時で、異例中の異例で、その中で苦労しながらご自身が考えたことを実践してきたのです。今までの伝統や常識は壊すだけでなく、きちんとそういうものが残されていたのかを理解して、大事なところは残しつつ新しいことをやっていく、これを大事にして来た。だからこそ自分は横浜に受け入れてもらったのではないかと書かれていました。今は球団社長は退かれていて横浜スタジアムは買収が成功し、2020年に向けて拡張が出来るようになり、後任の社長が市議会や政界などにパイプがある方を敢えて据えたから出来たと言われていました。

最後に、『てんぷら屋に行くときは腹をすかして行って、親の敵にでも会ったように、揚げるそばからかぶりつくようにして食べなきゃ』

これは根本さんから教えてもらった『男の作法』という本です。池波正太郎さんがインタビューを受けたものを文章化したものやご自身が書かれたエッセイが集められた本です。この中に書かれているのは『こだわり』です。てんぷらを揚げたそばから食べなければだめだとか、寿司屋に行ったら『しゃり』と言わず、ごはんと言えば良いとか、ご自身のこだわりが書かれており、食事のこだわりや服装のこだわり等も書かれています。

私は今年35歳になって自分自身のこだわりを今後見つけていければ良いと思っています。

『男の作法』を読んでから『鬼平犯科帳』を読みましたが、食事のシーンにこだわっていて、時代小説なのに何故グルメな小説なのかと思った記憶があります。

いくつかお話をさせて頂きましたが、ある本からの引用で、『教養を得る方法は、以下の3つのみ、とのこと』
・人から学ぶ ・旅から学ぶ ・本から学ぶ
教養を得るのは難しく、これからも頑張っていかなければいけません。『人・旅・本』これが大事な要素になっていくと思います。まずは手軽なところで本を読み続けていきたいです。最近では歴史の本であるとか、地政学と言って、地理的環境と経済・歴史の関係が書かれた本などもありますので、そういったものも読んでいきたいと思っています。昔、弁護士の先輩に仕事は交渉などいろいろありますが、最後は文章で戦う仕事である。だから、美しい文章を書く人の本をたくさん読みなさいと言われてきました。ただそれが実践できていないので、これからは意識して読んでいこうと思います。皆様のおすすめの本があれば教えて頂ければと思います。

駆け足になりましたがこれで私のつたない話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎ニコニコボックス

根本雄一親睦委員

北見丈治会長

もう負けられません。今日負けると自力優勝がなくなり、DeNAも負けると広島にマジック36が点灯します。残り51試合、全力で行きましょう。先週は3勝3敗でしたので、3勝分と思ったのですが、今日と明日の勝利分を入れて5勝分です。

大越雅也幹事

デルバさん・宋宇さんようこそいらっしゃいました。高柳会員の卓話を楽しみにしております。

尾形達也会員

結婚記念日祝を頂きましてありがとうございました。

高柳良作会員

本日の卓話宜しくお願い致します。

大井和子会員

多くの皆様からご協賛頂いた縁日と映画の夕べは大盛況のうちに終わりました。高柳さんには焼き鳥のお手伝いをして頂きました。後片付けは雨に降られずぶぬれになりながらでした。有難うございました。

平山滋也会員

先週は妻の誕生日祝を頂き有難うございました。現在最も忙しい時期に当たり、毎日がヘロヘロです。高柳会員の卓話を楽しみにしております。

西山俊雄会員

いよいよ8月です。でもこれと言って変化はないですね。暇です。

市川敏明会員 橋浦重己会員 民谷佳子会員

米山奨学生デルバさん、元米山奨学生の宋宇さんようこそ。

高柳会員の卓話期待しております。

海野俊彦会員

夏本番です。熱中症にご注意下さい。

元米山奨学生宋宇さんようこそいらっしゃいました。

福嶋昭会員

元米山奨学生の宋宇さん、元気なお顔を見せて頂き有難う。昔と変わっておりません。

青柳民朗会員 樋口一樹会員 宮下賢会員

高柳会員の卓話を楽しみにしております。

坂巻照代会員

宋宇ちゃんお久しぶり。デルバさんとの3ショット嬉しいです。

林田さんご馳走様、大好物です。

佐々部宣宏会員

元米山奨学生の宋宇さん・米山奨学生のデルバさん例会を楽しんで下さいね。

横尾博之会員

迷走台風にいじめられています。

◎次週の予定

8月 9日(水) 休会

16日(水) 山田哲也会員『インシエーションスプーチ』

◎会報

宮下賢会報委員